

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	支援ハウスまつほっくり		
○保護者評価実施期間	令和7年 12月1日		～ 令和7年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数)
○従業者評価実施期間	令和7年12月1日		～ 令和7年 2月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	親子通所であるので、保護者と一緒に子どもの発達段階に気付き、関わりに繋がる支援ができる。	子どもに必要な支援のやり方が保護者に伝わるように、活動中や活動後にわかりやすく伝えたり、一緒に考えて、保護者の気付きや納得に繋がるような対応をしている。	保護者の気付きや納得した理解の仕方になっているか、定期的に面談を行っていききたい。
2	心理専門員に発達段階を見てもらい、支援の方向性を共通理解出来ている。	定期的に心理専門員から保護者に向けて話をする機会を設けている。	心理専門員からの話の理解がどの程度であるのか、保護者の意見を聞き、改善につなげていきたい。
3	戸外には築山、砂場、土場があり、裏庭にはどんぐりや果樹も植えているので、十分に身体を動かしたり、感触遊びを楽しめる環境となっている。	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽の日を浴びながら心地よく戸外でも活動が出来るようにしている。 ・夏場は、日よけを設定している。 ・虫探しの体験できるようにしている。 	今後も、子どもが発見し、観察したり、不思議に思う感性等にも丁寧に対応していきたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	心理専門員以外の専門職からみた子どもの発達段階を知る機会が少ない。	嘱託のやまびこ医療福祉センターの受け入れ数が少ない。	嘱託のやまびこ医療福祉センターの支援の受け入れを増やすことで、各専門職からの見解を知り、日々の療育活動の支援に活かしていきたい。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	支援ハウスまつぼっくり
------	-------------

公表日 令和7年2月26日

利用児童数 30人 令和7年2月17日

回収数 26

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	24	2			<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが走りまわって遊べるほど、十分な広さだと思います。 ・広くて、日当たりもよくて綺麗。 ・庭もあるし、室内もとても広々している。 ・十分なスペースがあります。天気の良い温かい日には、お庭でも遊べるのではないかと思います。 	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	25	1			<ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人に先生が一人ついてくれているので十分だと思います。 ・その場でお話したい場面になった時に、先生同士での連携が取れ、その瞬間の悩みを鮮度のあるうちに相談できるという場面が何度もありました。 ・常に一人の子に対して一人の先生が付き添って来ています。 ・子どもたち一人一人をよく見てくださっていて、その都度アドバイスや助言をしてくれています。 	今後もより丁寧に支援ができるように職員の配置数や、専門的な見方を保護者の方に返していただけるように心掛けていきます。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22	3		1	<ul style="list-style-type: none"> ・荷物置き場、活動のスペースなど、部屋で分かれており子どもにもわかりやすいかと思います。 ・シンプルな室内でわかりやすいです。 	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	26				<ul style="list-style-type: none"> ・先生方がこまめに清掃してくださっているので、とても清潔な環境です。 ・段ボールでお家の空間を作ったり、工夫されていました。子ども達も大喜びです。 ・いつも清潔で掃除も行き届いており、とても心地よいと感じる。 ・先生方がこまめに掃除をくださっていて、玩具やマットの消毒してくださっています。 	
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	25		1		<ul style="list-style-type: none"> ・個人の特性を理解し、その子に合った支援が受けられていると思います。 ・とても思う。子どもの気持ちのお話が難しい時もあるが、先生と子どものやりとりをみて気づくものがある。 ・通所一年未満です。家庭内の姿（親が子に対して困っている様子、行動）をやっとまつぼっくりでも出すようになりました。約一年かけて、子と先生方の信頼関係が出来てきた証拠なのだと思います。その時の子の状況に応じて、気持ちの汲み取りや寄り添って下さる先生方に感謝します。 ・子どもの特性や気持ちに寄り添ってくださり、専門の先生にも相談しやすく助かっています。 ・様々なプログラムがあり、毎回何をやるのかなと楽しみにしている。 	子どもの特性等に応じた専門的な支援が、保護者の方にも伝わるように努めていきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	24			2		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	24	1	1		<ul style="list-style-type: none"> ・その時々で困っていることなど聴いてくださりその上で決めてくださっています。 ・計画のゴールではなく、過程の状況であるため判断できない。 	個別支援計画を作成し、保護者に説明をする際、課題が客観的に分析されているか確認をしています。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22	2		2	<ul style="list-style-type: none"> ・計画のゴールではなく、過程の状況であるため判断できない。 	保護者の了解を得た後、通所園の様子を確認し、情報共有していくことで連携が図れるようにしていきます。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	24	1		1	<ul style="list-style-type: none"> ・支援計画に沿った支援が出来ていると思います。 ・計画のゴールではなく、過程の状況であるため判断できない。 	

	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	24			2	毎回違う活動があり、子どもも楽しんでいます。		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	13	4	4	5	・活動に参加したことがまだないので、どちらともいえないにしました。 ・幼稚園に入園したため、交流の機会があります。	未就園児のグループは、必要に応じて交流出来るような機会を設けていきたいと思っています。	
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24	1		1			
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	25	1			いつもわかりやすく説明していただき助かっています。		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	24				2	・定期的に講話が行われており、子どもへの関わり等について学んでいます。 ・心理専門員の講話が前年度より増え、より子どもへの対応の仕方について理解が深まったと思います。 ・古川先生のお話や、家族参加型のイベントに助けられています。 ・毎月の活動での子どもの様子や課題をまとめて下さっているので、自宅でも共有しています。	
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	24	1	1			・通所のたびに、子どもの状況を先生方とお話し、共通理解できています。 ・月一回、子どもの状況を保護者同士で伝え合う場をもつ時間をつくってほしい。 ・いつも何かあれば先生方に伝えて、連携が取れていると思う。 ・子どもの様子をよく見てくださっていて、子どもの成長と一緒に喜んでくれたり、共有してくださっています。	・子どもの発達状況についての共通理解に繋がるように的確にわかりやすくしていきます。 ・来年度、子どもの状況を保護者同士で伝え合う場をもつ時間を増やしていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	25	1				・講話時に助言していただいたり、通所時に、子どもの変化などのお話をし助言いただいています。 ・専門的に知識ある人や、同じ子育てをしてきた人達にお話を共感、アドバイスをいただけることは本当にありがたくて、親子で日々成長しています。 ・その都度、悩み等あれば相談してアドバイスをいただくような形になっている。 ・定期的な面談もしてくださっていて、日々の活動の中でもその都度助言をいただいています。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	25				1	親子共に気持ちに寄り添って話を聞いてくださり、助けられています。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	18	6	2		・子どもとの季節のイベントの参加や保護者同士の交流会が設けられています。 ・保護者同士で悩みやアドバイスを離す中で、見つかる育児もあり、気づかされ学んでいます。 ・保護者同士の交流は充分されていると思うので、更にきょうだいへの支援があると嬉しいです。 ・保護者会はあります。きょうだい向けのイベントはまだ知らない為不明。 ・きょうだい向けのイベントがあればぜひ参加したいです。 ・きょうだい向けのイベント、支援をしていただき、きょうだい関係の家庭での様子を相談できるようにしてほしい。 ・季節の行事等、とても工夫された楽しいイベントが開催されて親子で楽しめる。 ・保護者同士で話す機会も少しずつですが、もてる時間を作っていたらいいと思います。 ・きょうだい向けのイベントなどにまだ参加できていないので、どちらともいえないにしました。 ・親同士の交流も出来るようになり、ありがたいと思うばかりです。 ・保護者の懇談会があったり、活動後に他の保護者さんと悩みなどを話せる振り返りの時間があります。	きょうだい向けのイベントの開催等で、きょうだい同士の交流の機会を設けていき、保護者支援に繋がるようにしていきます。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	24	2			<ul style="list-style-type: none"> ・通所日追加の相談をし、申し入れをした際に迅速かつ適切に対応していただきました。 ・いつでも相談を聞いてくれます。 ・とても相談しやすい雰囲気、どうしたらいいか一緒に考え、アドバイスをしていただける。先生方も情報を共有しているようで安心。 ・活動時に最近のこどもの様子を聞いてくださったり、いつでも相談しやすい環境だと思っています。 	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	25		1		<ul style="list-style-type: none"> ・こどもの伝えたい事を時間をかけてでも汲み取ってくれています。振り返りや毎月のまとめも助かっています。 	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	22	1		3	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月ごとの活動予定を紙面でいただいています。 ・親子分離の活動の日は、コドモンで写真付きでの連絡がくるので楽しみ。 ・毎月のお便りに活動のことや、子育てに役立つような情報などが載っています。 	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23	3			<ul style="list-style-type: none"> ・しっかり出来ていると思います。 	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	25			1	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に緊急時を想定した訓練がある。 ・まだ参加できていませんが避難訓練があったり、マニュアル等も掲示されています。 	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	26				<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に避難訓練が行われています。 ・子どもにもわかりやすいように火事の日のお絵かきを持って火事を知らせてくれる。 	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	24	1		1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	23	2		1	<ul style="list-style-type: none"> ・お友だちとぶつかった、ケンカした等その日に伝えてくれます。 ・トラブルが起きたことはありませんが、何かあった際には説明していただけると思います。 	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	25			1	<ul style="list-style-type: none"> ・安心感をもって、活動を楽しんでいると思います。 ・正直、保育園よりも嬉しそうに通っています。安心があるから楽しい繋がっていると思います。先生たちが話を聞いてくれる、わがごとくしてくれる、その思いが伝わります。 ・毎週とても楽しみに通っている。 ・お友だちや先生方との信頼関係もできてきて、安心して通う事ができています。 	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	24			2	<ul style="list-style-type: none"> ・週一回の通所を二回に増やしたいと言う程楽しんでます。 ・時々、行きたくないなーと訴える事はありますが、行ってしまえば楽しく活動しています。 ・「まつぼっくり、やったー！」と喜びながら通所しています。 ・なかなか行けませんが、とても楽しみにしています。 ・毎回活動内容は何か事前に聞いてきたり、お友だちに会えるのを楽しみにしています。 	

29	事業所の支援に満足していますか。	24	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・とても満足しています。 ・大変満足している。良い先生たちばかりです。常に相談にのってくれて親子で先生たちに甘えちゃいます。 ・大変満足している。 ・いつもありがとうございます。 ・親子共々心の拠り所になっていると思います。 ・子どもに対してはもちろん、保護者の私達へも丁寧に接してくださり、相談もしやすく助かっています。最初に来た時に比べると子どもも気持ちを言葉で伝えられるようになってたり、出来ることも増え、友だちとの関わり方も変わってきたりと大きく成長しています。私自身も日頃の声掛けの仕方や対応なども多く「学ばせていただいております。先生方には感謝しております。ありがとうございます。 	利用者一人一人が満足していただけるように、保護者、利用児に寄り添った支援をしています。
----	------------------	----	---	---	---	---

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	支援ハウスまつぼっくり	公表日	令和7年 2 月 26日		
チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		自由遊びの際も、集団（身体を動かさず遊び）や個人（机上での遊び）が出来るよう工夫している。	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		配置基準を満たし、より丁寧に支援できるような配慮を心掛けている。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		写真やイラスト等用いてこども達にわかりやすいよう提示している。	玄関に段差があるので、バリアフリー化を必要とする利用者を受け入れた際は配慮していきたい。
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		心地よく使用できるように玩具の消毒も毎回行っている。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		必要に応じて個別に取り組みめるような場所も設定している。	
6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		全職員で日々の振り返りや月一回の会議を通して、見直しを行っている。	
7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		保護者からの意向等、職員間で話し合い、業務改善に繋がる取り組みをしている。	

8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		意見を言いやすい風通しのよい環境づくりを心掛けています。その都度向上に繋がるよう業務改善に努めている。	
9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○	○		
10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		外部研修や内部研修に参加できるようにしている。専門職の先生からの意見も取り入れながら学ぶ機会を設けている。	
11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		職員間で話し合い作成し、閲覧しやすい場所に掲示している。	
12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		日々の活動の様子の記録と振り返りでありながら課題を通して、ニーズに基づく計画作成を行っています。	
13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		こども一人一人に対して、今の状況や必要な支援など、様々な角度から検討していけるようその都度、職員全体で話し合っている。	
14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画を全職員が確認を行い共通認識の下、支援ができるようにしている。	
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		外部で行われたアセスメントツール等結果も情報共有して支援の参考にしている。	
16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「本人支援」「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		児童発達支援管理責任者を中心に検討会議を行い、作成している。	

17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		立案を基に参加職員全員で行っている。	個々の発達段階を全職員で把握し、それぞれの課題に合った活動内容を検討していき
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		こどもの様子に合わせ、固定化しないよう工夫するとともに、子どもの成長も感じられるような活動も取り入れている。	
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別対応をする際、思いの汲み方、やり取りを大切に、集団活動への移行と満足できる関わりを大切にしている。	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		前回のこども、保護者の様子や思いを振り返り、どういった支援が必要なのかを再度確認し、連携がとれるようにしている。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		職員間でその日の支援で気付いたことを共有し、保護者にも伝えていく。	次回にどう活かしていくか、職員間で周知できるように共有の仕方をつけていく。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
24	障害児相談支援事業所のサービスマン担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			関係機関との連携について、保護者に理解してもらい、対応できる体制を整えてお

× 援 の 提 供

26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		就学前移行シートを作成し、小学校の担任と情報共有している。	
28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
30	(自立支援)協議会こども会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		児童発達支援センターと積極的に連携が図れるようにしている。	
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・親子通所なので、こどもの発達の状況や課題について共通理解しやすい。 ・家庭の様子も話してもらええる関係作りを大切にしている。 	

34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		心理専門員の視点とともにペアレントトレーニングの機会を設けている。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		保護者の意見を傾聴する時間を設けている。	
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		支援内容の説明を丁寧に言い、同意を得ている。	
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に対応し、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		定期的に面談等で話しをする機会を作っているが、面談以外の時間も必要に応じてじっくり話を聞く時間を作り、一緒に考えていけるよう取り組んでいる。	
39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○	○		きょうだい同士で交流する機会を設ける活動を取り入れていき、きょうだいの様子や保護者の思いを汲んでいきたい。
40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・月に一度、活動概要や活動予定を紙面で発行している。 ・親子分離で通所した際、活動の様子をコドモンで発信している。	
42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			

非常時等の対応									
43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○							
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	○						利用者の意向も確認しながら、地域住民との触れ合いの場も大事にしていきたい。
45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○							
46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○							様々な災害を想定した訓練を行っている。
47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○							保護者の方に、契約時と年度初めに個別で子どもの現状を記載してもらい、全職員で確認している。
48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○							
49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○							利用者が安心、安全に過ごしていただけるよう安全計画を作成し、研修や訓練を行っている。
50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○							
51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○							その都度報告し、再発防止に向けた方策も記録に残している。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○							

	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、ごどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			
--	----	--	---	--	--	--